

The 4th Asian Network of Research Resource Centers (ANRRC) International Meeting 会議報告

開催日： 2012年10月16日(火)～19日(金)

開催地： ShineVille Resort, Jeju Island, Korea

主催： Korea National Research Resource Center (KNRRC)

後援： Ministry of Education, Science and Technology,
National Research Foundation of Korea (NRF)

【会議概要】

第4回Asian Network of Research Resource Centers (ANRRC) の国際会議がKorea National Research Resource Center (KNRRC) の主催の下、2012年10月16日から19日まで韓国済州島にて開催された。本国際会議はバイオリソースの整備に携わるアジア諸国の研究者の交流の場として4年前に発足したものである。今回の会議には18ヶ国211名の関係者が出席した。日本からは14名が参加した(日本人参加者名簿は次ページに記す)。

本国際会議では、Plenary Lectures 5報、Sessions 50報(Biobanking of Human-derived Specimens, New Methods and Application, National/Regional Network of Research Resource Centers, Data Management, Regulation and Utilization of Biological Resources, China -Korea Joint Seminar, ISBER Workshop)及び Posters 64報(Human-derived Biological Resources, Animal Resources, Plant Resources, Microbial Resources, Regulation and Methodology)の発表が行われた。

今回のANRRC会議全体を通して ①バイオリソースの中でヒト細胞バンクの整備がアジア各国で急速に行われていること ②バイオリソース整備について国別では日本、中国、韓国に次いでタイの躍進ぶりが目についたこと ③名古屋議定書に伴う遺伝資源の取得と利益配分(ABS関係)に対する各国の対応は、緒についたばかりで国内の法的整備はこれからという段階であること等、アジア諸国におけるバイオリソース分野の現状を知ることができた。

本国際会議の次期会長は、Yeonhee Lee女史(韓国)から小幡センター長(理研BRC)に引き継がれることになり、2013年10月には日本でThe 5th ANRRCが開催される予定である。



【日本人参加者名簿】

	氏名	所属	テーマ	発表
1	小原 雄治	国立遺伝学研究所	New Methods and Application	Oral
2	小幡 裕一	理化学研究所筑波研究所BRC	Plenary Lecture	Oral
3	中村 幸夫	理化学研究所筑波研究所BRC	Biobanking of Human-derived Specimens	Oral
4	大熊 盛也	理化学研究所筑波研究所BRC	New Methods and Application	Oral
5	榭屋 啓志	理化学研究所筑波研究所BRC	Data Management	Oral
6	小林 正智	理化学研究所筑波研究所BRC	Plant Resources	Poster
7	安部 洋	理化学研究所筑波研究所BRC	Plant Resources	Poster
8	河地 正伸	国立環境研究所	Microbial Resources	Poster
9	漆原 秀子	筑波大学	Microbial Resources	Poster
10	星川 健	筑波大学	Plant Resources	Poster
11	成瀬 清	基礎生物学研究所	Regulation and Methodology	Poster
12	佐藤 清	国立遺伝学研究所	Regulation and Methodology	Poster
13	尾前 二三雄	理化学研究所筑波研究所BRC	—	—
14	小原 有弘	医薬基盤研究所生物資源研究部	—	—

